

# 徳島県立那賀高等学校 青少年赤十字（JRC）部

高校生ボランティア・アワード2022

## 「補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)の普及・啓発について

～一人でも多くの人に知ってもらうために～

### 活動概要

JRC部では今年度、補助犬の啓発活動に取り組みました。まず、補助犬のを知るために、NPO法人補助犬とくしまの杉井代表や、NPO法人ボランティアドッグ育成センターからスタッフ2名と介助犬1頭・聴導犬1頭に来校いただき補助犬全般に関することや、災害時の同伴避難の際に避難場所で想定される困難さを教えていただきました。

その後、啓発リーフレットを作製しました。那賀高校版補助犬マークを使ってリーフレットだけでなく、マグネット等グッズを作製し啓発活動を行いました。

さらに、本校は災害時に避難場所に指定されていることから、万一の時に、補助犬とともに避難しても快適に避難生活を送ることができるように補助犬同伴避難シェルター作りにも取り組みました。

私たちの活動は、補助犬の存在を知り、補助犬が増えたら、その分、生活が豊かになる人が増えるのではないかという思いから始まり、補助犬について学び、その後、学校の正面玄関に「ほじょ犬マーク」を設置しました。今後もこの活動を広げていきたいと考えています。

補助犬の啓発活動のために、「那賀高校版補助犬マーク」を作りました。このマークを使ってグッズを作り、直接手渡ししながら地域の方に啓発しました。

Anyone can be a star



那賀高校版補助犬マーク



## 「補助犬のことを知っていますか？」

### 活動の目的

徳島県では現在、盲導犬4頭、介助犬2頭、聴導犬1頭の計7頭がユーザーの元で、活躍しています。なお、3種類の補助犬がすべて活躍しているのは47都道府県中13のみで、徳島県もその1県です。また、海外と比較しても日本の補助犬頭数は少ないと言われていいます。その上、補助犬の存在や法律を知らない人の割合が約70%と、2002年に法律が施行された頃より、最近の方が補助犬への関心が薄れている現状があります。その結果、公共の建物や乗り物等で補助犬との同伴が拒否された経験があるというユーザーが2015年の調査で66%に上りました。

このことから、補助犬に対する理解・啓発の必要性を痛感しました。そこで、私たちJRC部では補助犬とそのユーザーさんのことをもっと多くの人に知ってもらおうと啓発活動に取り組みました。



### 補助犬(ほじょけん)を知っていますか？

盲導犬(もうどうけん)・介助犬(かいじょけん)・聴導犬(ちやうどうけん)のことをいいます。  
 ●盲導犬は、目の見えにくい人の目になって安全に歩かせます。  
 ●介助犬は、体の不自由な人の動作の補助をします。  
 ●聴導犬は、生活に必要な音を聴えて耳の不自由な方を助けます。  
 徳島県では現在、3種類、7頭の補助犬が活躍しています。

### ユーザーさんについて

ユーザーさんの中には、身体障害者補助犬法が施行され、国、地方公共団体、公共交通事業者、不特定多数者が利用する施設では、身体障害者が同伴する身体障害者補助犬を拒否してはならないことが定められています。

## 「補助犬の啓発活動と避難シェルター作り」活動の内容

補助犬の知るため、NPO法人補助犬とくしまの杉井代表や、NPO法人ボランティアドッグ育成センターのスタッフと介助犬1頭・聴導犬1頭に来校いただき、補助犬全般に関することや災害時の同伴避難の際の配慮点等を教えていただきました。また、那賀高校版補助犬マークを使ってリーフレットやマグネット等グッズを作製し啓発しました。グッズには自作の補助犬啓発リーフレットを同封しました。10月には、驚敷にある公共機関を中心に「ほじょ犬シール」を配付し紹介しました。伺ったどの関係機関の方も、快く受け取ってくださいました。さらに、那賀川図書館や阿南市役所で行われた服活イベントでは、補助犬紹介コーナーを設置し、来場された方に補助犬の紹介とグッズの配布を行いました。はじめは緊張してしまい、話す声が小さくなりがちでしたが、少しずつ慣れてくると、丁寧に話をするできるようになりました。そして、補助犬同伴避難シェルター作りにも取り組みました。本校は、災害時に避難場所に指定されており、万一の時に、補助犬とともに避難しても快適に避難生活を送ることができるように考えました。どのくらいの大きさが必要かを具体的に知るために、模造紙で模型を作り実際に車いすで出入りしてみました。現在、試作品がほぼ完成しており、さらに工夫をこらす予定です。

### 補助犬に関する研修会



### 補助犬の啓発活動



### 補助犬啓発用グッズ作り



### 補助犬用避難シェルター作り



## 「みんなが住みやすい町にしたい！」

### 今後の活動

補助犬の啓発活動を続ける中で、多くの人との出会いがあり、応援の言葉も数多くいただきました。嬉しいことに「ほじょ犬シール」を貼っていただけたところもあります。さらに、思いがけないことに1月には、ホームラン王に輝いたオリックスバファローズの杉本選手に補助犬を紹介し、グッズを手渡すことができました。

活動をおとして、人とのつながりの大切さやその広さを実感し、やればできる！という達成感とさらに多くの方に働きかけたいという意欲につながりました。

今後は、啓発活動の場をさらに広げ、社会的弱者といわれる人も一緒に、「みんなが住みやすい町作り」に貢献したいです。また、補助犬同伴用避難シェルターを完成させ、災害時に安心してみんなが避難できるように環境を整えたいと考えています。



### 活動団体プロフィール

私たちJRC部は、地域で行われるイベント等のボランティア活動や防災に関する活動を中心に活動しています。

今年度は、今までの活動に加えて、「補助犬の啓発活動」に力を入れて取り組んできました。これらの活動をおとして、様々な人に出会い、人とのつながりの大切さを実感しました。

今後も、さらに活動を深化させたいと考えています。

Welcome!



ほじょ犬

